

## 障がいのある人への差別の実態把握のためのアンケート結果【概要版】 一般用

### 【アンケートの目的】

習志野市障がい者地域共生協議会では、令和元年度より障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律第17条第1項に基づく「習志野市障がい者差別解消支援地域協議会」の役割を担い、障がいのある人に対する障がいを理由とする差別の解消に向けて、様々な取り組みを推進しております。

しかしながら、現在本市の障がいのある人への差別の実態把握は不足しています。そこで、更なる取り組み内容の検討にあたり、実態の把握を行うため、アンケートを実施するものです。

### 【アンケート配布先】

- ① 障がいのある人(やさしい表現版の配布含む) **276人**
- ② 障害福祉サービス事業所職員等 **202人**
- ③ 民間事業者  
商店街連合会所属商店 約**400店舗**

### 【アンケート配布部数】

一般用(対象者①～③)……878部

### 【アンケート方法】

一般用(対象者①～③)…アンケート用紙にて回答

障がいのある人には、「やさしい表現版」を配布

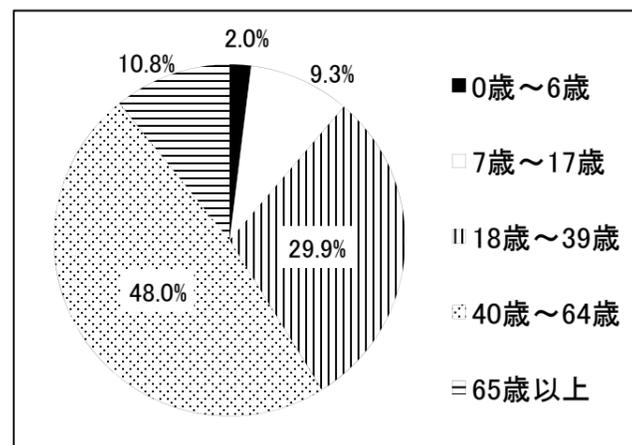
### 【回答期間】

令和2年7月2日(木)～17日(金)

### 【回答状況】

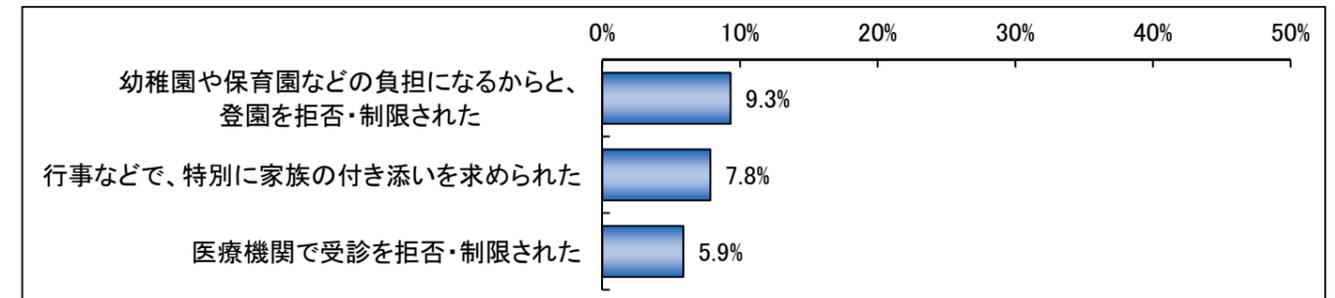
一般用……502名 (回答率 57%)

### 【回答者年齢別割合】



### 【アンケート結果】

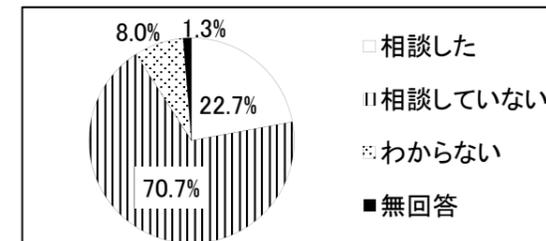
問 あなたは、障がいを理由とする差別をされたと感じたことがありますか。【回答者:障がいのある人】



結果の説明: 全体の36パーセントの回答者が「障がいを理由とする差別をされたと感じたことがある」と回答しています。

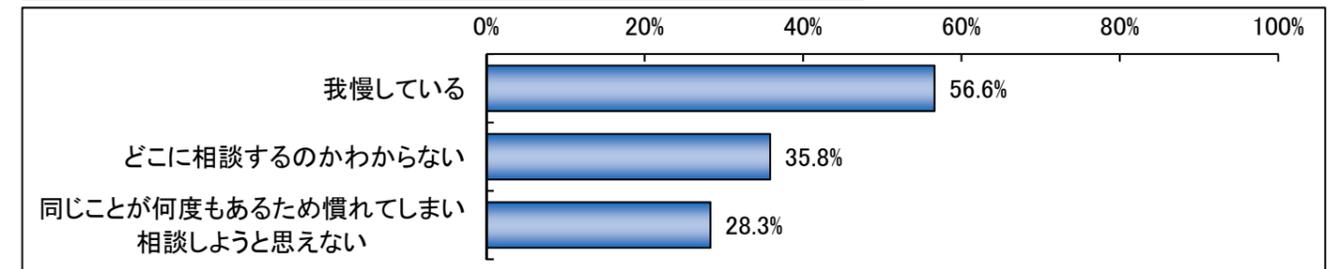
差別をされた内容では、無回答(63.2%)やその他(8.8%)を除き、「幼稚園や保育園などの負担になるからと、登園を拒否・制限された」の回答が最も高く、次いで、「行事などで、特別に家族の付き添いを求められた」が高くなっています。

問 差別をされたと感じた時、あなたはどこかに相談しましたか。【回答者:障がいのある人】



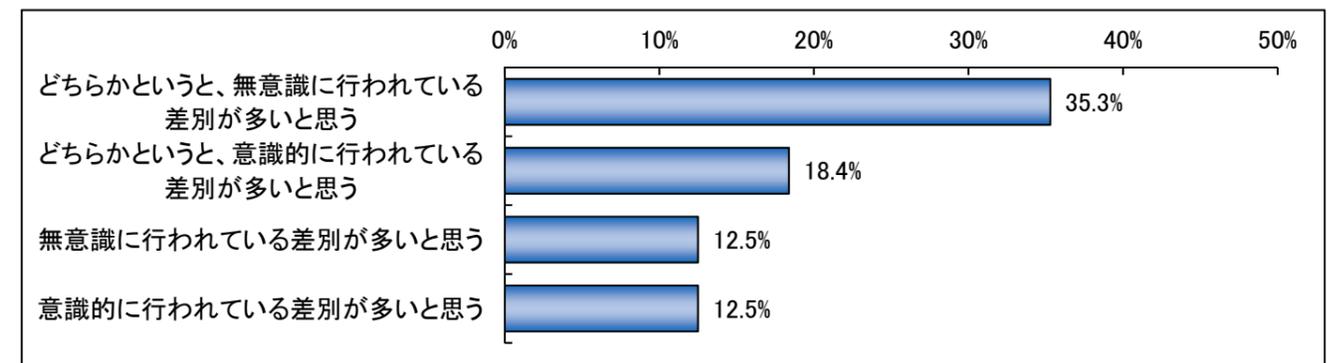
結果の説明: 「相談していない」の回答が約71%で最も高く、次いで「相談した」が約23%となっています。

問 相談していない場合、その理由は何でしたか。【回答者:障がいのある人】



結果の説明: 「我慢している」の回答が最も高く半数以上を占めています。次いで「どこに相談するのかわからない」「同じことが何度もあるため慣れてしまい相談しようと思えない」の順に高くなっています。

問 差別をする人の意識についてどう思いますか。【回答者:全回答者中、障がいのある人への障がいを理由とする差別について、見たり聞いたりしたことがある人】



結果の説明: 「どちらかという、無意識に行われている差別が多いと思う」が約35%で最も高く、次いで「どちらかという、意識的に行われている差別が多いと思う」が約18%、「無意識に行われている差別が多いと思う」「意識的に行われている差別が多いと思う」が両方12.5%となっています。(無回答 12.5%を除く)